

日米首脳会談等の結果報告

平成29年2月15日

岸田臨時議員提出資料

安倍総理の米国訪問（2017年2月）

主要日程

2月10日（金） ※日付は全て米国時間

- 全米商工会議所・米日経済協議会共催朝食会
- アーリントン国立墓地訪問・献花
- 日米首脳会談・共同記者会見・ワーキングランチ
- トランプ大統領夫妻との夕食会

2月11日（土）

- トランプ大統領とのゴルフ
- トランプ大統領夫妻との夕食会
- 共同記者会見

【今回の米国訪問の成果】

- アジア太平洋地域の安全保障環境が厳しさを増す中、日米同盟は揺るぎないということを内外にはっきり示した。
- 安倍総理とトランプ大統領の間で、胸襟を開いて2日間にわたり率直な意見交換を行い、両首脳間で確固たるパートナーとしての信頼関係を築くとともに、揺るぎない日米同盟の絆を更に強化。
- 麻生副総理とペンス副大統領の下での経済対話の立ち上げを決定。

2月10日（金）

1. 全米商工会議所・米日経済協議会共催朝食会、アーリントン国立墓地

安倍総理は、全米商工会議所・米日経済協議会共催朝食会に出席し、超党派の連邦議会議員や米国企業CEO等と日米関係の更なる強化に向けた意見交換を行った。

また、安倍総理は、アーリントン国立墓地を訪問し、ワシントン軍管区司令官ベッカー陸軍少将の出迎えと案内を受け、無名戦士の墓において、米側の各軍等が整列し、日米の国歌が演奏される中、献花を行った。

2. 日米首脳会談・共同記者会見

安倍総理は、午後12時10分頃から約40分間、トランプ大統領と日米首脳会談を実施した。両首脳は、アジア太平洋地域と世界の平和と繁栄のために、日米両国で主導的役割を果たしていくことを確認し、一層厳しさを増す地域の安全保障環境において、日米同盟を不断に強化する必要がある、同盟ネットワークを構築することが重要であるとの認識を共有した。また、日米経済関係の重要性について認識を共有し、これを更に大きく飛躍させ、世界の力強い経済成長をリードしていくために対話と協力を深めることで一致し、麻生副総理とペンス副大統領の下での経済対話の立ち上げを決定した。



2月10日（金）

3. 共同声明

安倍総理とトランプ大統領は、日米同盟の取組を一層強化する強い決意と、経済関係強化に引き続きコミットし、双方の利益となる個別分野での協力を積極的に推進していくことを確認する共同声明を発出した。政治・安全保障分野に関しては特に今回、①拡大抑止へのコミットメントへの具体的言及を行うとともに、②日米安全保障条約第5条の尖閣諸島への適用、③普天間飛行場の移設については辺野古への移設が唯一の解決策であることを文書で確認した。また、経済については、日米両国が、自由で公正な貿易のルールに基づいて、両国間及び地域における経済関係を強化することに引き続きコミットしていることを強調し、経済対話の立ち上げに合意した。

4. ワーキングランチ

安倍総理は、午後1時40分過ぎから約1時間、トランプ大統領とワーキングランチを行い、経済関係について議論した。両首脳は、アジア太平洋地域の平和と繁栄の礎である日米同盟は、防衛・安保のみならず、経済によっても支えられていること、日米両国は戦後一貫して自由貿易を堅固に支持し、率先して推進し、そして現在の繁栄を実現してきたこと、両国の経済関係を更なる高みに発展させることで一致した。

2月10日（金）・11日（土）

5. パームビーチでの行事、共同記者会見

安倍総理とトランプ大統領は、ワーキングランチ後に、エアフォース・ワンでフロリダ州パームビーチへ移動し、お互いの家族を交えて過ごし、じっくりと語り合い、信頼関係を確固たるものにした。安倍総理夫妻は、10・11日の両日共に、パームビーチにあるトランプ大統領の別荘でトランプ大統領夫妻主催夕食会に参加した。また、安倍総理は11日、トランプ大統領と共に、ゴルフをプレーし、その間、様々な話題についてじっくりと話をした。

さらに、フロリダ滞在中に発生した北朝鮮の弾道ミサイル発射という挑発行為に対し、その場で共同会見を開催し、日米の強い結束を明確に示した。



麻生副総理の米国訪問（2017年2月）

【今回の米国訪問の成果】

- カウンターパートであるペンス副大統領との初会談。日米同盟の一層の強化，日米経済関係の深化・発展について意見を交換。
- 同会談においては，日本企業の米国経済への貢献，世界経済における日米経済関係の重要性について説明するとともに，アジア太平洋地域の力強い成長と繁栄の実現に向けて力を合わせて取り組んでいくことで一致。
- 日米首脳会談では，世界の力強い経済成長をリードしていくために対話と協力を深めることで一致し，麻生副総理とペンス副大統領の下での経済対話の立ち上げを決定した。

1. 全米商工会議所・米日経済協議会共催朝食会

麻生副総理は，全米商工会議所・米日経済協議会共催朝食会に出席し，超党派の連邦議会議員や米国企業CEO等と日米関係の更なる強化に向けた意見交換を行った。



2. 麻生副総理とペンス米国副大統領との会談

麻生副総理から，ペンス副大統領の就任に祝意を表すとともに，同副大統領がこれまで日米関係の強化に取り組んできたことに謝意を述べた。その上で，ペンス副大統領と共に，日米同盟の強化，日米経済関係の深化・発展，アジア太平洋地域の力強い成長と繁栄の実現に向けて，力を合わせて取り組んでいきたい旨述べた。



これに対し，ペンス副大統領から，日本は最も緊密な同盟国であり，経済，安全保障，文化等の諸側面で結びつきを深めていきたい旨述べた。さらに，貿易・投資面での高い水準のルールを支持しており，双方が成長していくための環境条件を整えていくことが重要である旨述べた。

3. 日米首脳会談・ワーキングランチ

麻生副総理は，安倍総理とトランプ大統領との間の日米首脳会談に同席した。同会談において，日米経済関係の重要性について認識を共有し，これを更に大きく飛躍させ，世界の力強い経済成長をリードしていくために対話と協力を深めることで一致し，麻生副総理とペンス副大統領の下での経済対話の立ち上げを決定した。



日米外相会談（2017年2月10日）

【今回の会談の成果】

- ティラソン米国国務長官と初の外相会談を実施。
- アジア太平洋地域の安全保障環境を中心に充実した意見交換を実施。日米同盟を一層強化し、様々な課題に共に取り組んでいくことで一致。
- ティラソン長官との間での個人的な信頼関係の構築に向けた機会となった。

1. 日米同盟

双方は、アジア太平洋の平和と安定の礎である日米同盟の重要性を確認するとともに、地域の諸課題に対応するにあたり日米の協力を強化していくことで一致した。

2. 地域情勢

- (1) 双方は、北朝鮮の核・ミサイル問題、東シナ海、南シナ海など地域の情勢について概観し、アジア太平洋地域の安全保障環境が一層厳しさを増していることにつき、認識を共有した。
- (2) 北朝鮮をめぐる問題に関し、日米とともに、日米韓三カ国の協力の重要性について一致した。
- (3) 岸田大臣から、日中関係及び日韓関係に関する我が国の基本的立場を説明した。
- (4) ティラソン国務長官から、改めて、尖閣諸島への日米安保条約適用を確認するとの発言があった。

3. 沖縄

岸田大臣から、沖縄の負担軽減への取組につき説明し、双方は、普天間飛行場移設問題について、辺野古が唯一の解決策である旨確認した。

4. 日米経済関係

岸田大臣から、日米経済関係は大きな潜在性を秘めており、日米両国でアジア太平洋地域における経済成長を牽引していくことが重要であるとした上で、TPP協定の経済的・戦略的意義を指摘。ティラソン国務長官から、日米経済関係の発展の重要性を指摘すると共に、アジア太平洋の国々と緊密な経済関係を構築することが重要との発言があった。

